

# 3枚目・A水準

限度時間を超えた労働者に対し、裏面の記載心得1(9)①~⑩の健康確保措置のいずれかの措置を講ずることを定めてください。該当する番号を記入し、下欄に具体的内容を記載してください。

(健康福祉確保措置)

①医師による面接指導 ②深夜業(22時~5時)の回数制限 ③終業から始業までの休息時間の確保(勤務時間インターバル) ④代休休日・特別な休暇の付与 ⑤健康診断 ⑥連続休暇の取得 ⑦心とからだの相談窓口の設置 ⑧配置転換 ⑨産業界等による助言・指導や保健指導 ⑩その他

限度時間を超えて労働させる場合における手続	労働者代表者に対する事前申し入れ
限度時間を超えて労働させる労働者に対する健康及び福祉を確保するための措置	①、③、⑩
上記で定める時間数にかかわらず、時間外労働及び休日労働を合算した時間数が、かつ2箇月から6箇月までを平均して80時間を超過しないこと(医業に従事する医師は除く。)	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックボックスに要チェック)

【医業に従事する医師】 医業に従事する医師については、このチェックボックス(②の場合には2つ目と5つ目のチェックボックスを除きます。)に係る事項を労使で確認の上、必ずチェックを入れてください。チェックボックスにチェックがない場合には、有効な協定届とはなりません。

上記で定める時間数にかかわらず、時間外労働及び休日労働を合算した時間数が、かつ1年について960時間(B水準医療機関若しくはC水準医療機関において当該指定に係る業務に従事する医師又は連携B水準医療機関から他の病院若しくは診療所に派遣される医師(当該指定に係る派遣に係るものに限る。))以下でなければならないこと(ただし、1箇月について100時間以上となることが見込まれる医師については、健康確保の実施し、健康確保のために必要な就業上の適切な措置を講ずる場合、1箇月の時間外労働及び休日労働を合算した時間数が100時間以上になっても差し支えない。)

③~⑤の場合、都道府県知事からB水準医療機関、連携B水準医療機関又はC水準医療機関としての指定を受けていること。  
 (チェックボックスに要チェック) A水準医療機関で勤務する医師の場合は、チェック不要です。

協定で定める1箇月の時間外労働及び休日労働を合算した時間数が100時間以上である場合には、以下の措置を講ずること。

1箇月の時間外労働及び休日労働を合算した時間数が100時間を超え、かつ1箇月の時間外労働及び休日労働を合算した時間数が100時間以上にならなければならないこと(ただし、1箇月についても差し支えない。)。また、面接指導を行った医師の意見が踏まえ、労働者の健康確保のために必要な就業上の適切な措置を講ずること。  
 (チェックボックスに要チェック)

1箇月の時間外労働及び休日労働を合算した時間数が155時間を超えた場合、労働時間短縮のための具体的な措置を行うこと。  
 (チェックボックスに要チェック)

③~⑤の場合、1年の時間外労働及び休日労働を合算した時間数が960時間を超えることが見込まれる者に対して、勤務時間インターバルの確保等により休息時間を確保すること。  
 (チェックボックスに要チェック)

協定の成立年月日 ○○○○年 3月 12日  
 協定の当事者である労働組合(事業場の労働者の過半数で組織する労働組合)の名称又は労働者の過半数を代表する者の職名 氏名  
 様式第9号の5の届出をする場合には、3枚目に労働者代表の職名・氏名および選出方法、使用者の職名・氏名の記入をしてください。  
 ○○科医 山田花子  
 管理監督者は労働者代表にはなりません。  
 協定書を兼ねる場合には、労働者代表の署名または記名・押印が必要です。

協定の当事者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法(投票による選挙)

上記協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は上記協定の当事者である労働者の過半数を代表する者が事業場の全ての労働者の過半数を代表すること。  
 (チェックボックスに要チェック)  
 上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であつて使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。  
 (チェックボックスに要チェック)

○○○○年 3月 15日

○ ○ 労働基準監督署長

使用者 職名 氏名  
 陸奥 田中太郎

協定書を兼ねる場合には、使用者の署名または記名・押印が必要です。

労働者の過半数で組織する労働組合が無い場合には、36協定の締結する者を選ぶことを明確にした上で、投票・挙手等の方法で労働者の過半数代表者を選出し、選出方法を記載してください。使用者による指名や、使用者の意向に基づき選出は認められません。チェックボックスにチェックがない場合には、形式上の要件に適合している協定届とはなりません。